



MARUOKA ROTARY CLUB

丸岡ロータリークラブ会報



ロータリーは
機会の扉を開く

RI 2650地区スローガン

「ロータリーの原点に戻る」

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ

— 2650地区ガバナー 松原六郎 —

丸岡RCスローガン

居心地のいいクラブで！

人としてさらなる成長を目指しながら

— 丸岡RC会長 杉本政昭 —

📅 本日の例会

令和2年 9月28日（月）第200回例会

19:00 開会点鐘

ロータリーソング 「それでこそロータリー」 斉唱

会長挨拶 杉本 政昭 会長

幹事報告 三寺 康信 幹事

委員会報告

① 例会出席報告

② ニコニコ箱 ロータリー財団 本日の寄付報告

19:30 会員卓話

林田 千之 会員

「ロータリー検定に挑戦！」

20:00 閉会点鐘

📋 幹事報告

① 松原六郎ガバナー公式訪問

11月9日（月）14時半～

高棟コミュニティセンター大会議室にて

② ロータリー・リーダーシップ研究会パートI案内

10/18(日)及び24(土)開催 (WEB研修会)

⇒松井副会長出席予定

⇒新型コロナウイルス感染防止での理由でご欠席
の場合は、欠席と扱いません。

それ以外の理由での場合は、欠席となります。

⇒欠席連絡は理由を添えて月曜日15時頃までに
事務局へ。欠席連絡の徹底をお願いします。

⇒オンラインでの例会参加希望の方は、事務局まで

📅 次回の例会

令和2年10月 5日（月）第2021回例会

祝事

米山奨学生卓話

ガウタム, ビベク さん <ネパール・男性>

(お世話クラブ: 武生府中RC)

同行者: 地区米山奨学副委員長

伊藤 彰 氏(福井RC)

📅 今後の予定

令和2年10月12日（月）休会

令和2年10月19日（月）休会

令和2年10月26日（月）第2022回例会

クラブフォーラム

「ガバナー公式訪問に向けて」

ガバナー補佐 木村 昌弘 様

福井県内下記ロータリークラブ例会情報

・ビジター受付、メーキャップのみ受付も

全クラブ感染防止の対策の為、中止





皆さんこんばんは。いつまでも暑い暑いと言っていましたが、最近は、ようやく朝夕は結構涼しくなってきました、いつしか秋を感じるようになってきました。今日は2か月ぶりの例会です。

前回例会の7月には、九州、岐阜などで大雨による大災害が起こっており、丸岡は大きな災害もなく本当にいい街だなと、7月の会長挨拶で話したところでした。しかし、先日は坂井市を震源地とした大きな地震がありました。幸いにして大きな被害はなかったのですが、安心してはいる場合ではなく、普段から防災意識をしっかりと持つことを再認識いたしました。

さて、今日はメンズバレンタインデーだそうです。ワコールなどの女性用下着メーカーで組織する「日本ボディファッション協会」が制定した記念日で日本記念日協会が認定・登録しています。男性から女性に下着を贈って告白する日だそうです。発表当時は一時期話題になったのですが、女性の下着を買いにくい、下着のサイズを知っている時点で告白する必要はない、セクハラにもなりかねない、などの理由でほとんど普及せず、隠れ記念日として地位を確立したということです。普段からロータリー活動にご理解をいただいている奥様や、ご家族様に今日はメンズバレンタインデーということで、何か贈ってみてはいかがでしょうか。

本日は山岸会員卓話です。どうぞ宜しくお願いします。

第4回理事会 報告

9月14日(月)

【審議事項】 ①10月プログラムの決定

日 時	内 容
10/5 (月)	祝事 米山奨学生卓話 ガウタム、ビベク さん<ネパール・男性> (お世話クラブ: 武生府中 RC)
10/12 (月) 10/19 (月)	新型コロナウイルス感染拡大防止の為休会
10/26 (月)	クラブフォーラム 「ガバナー公式訪問に向けて」 ガバナー補佐 木村 昌弘 様

表彰

9月14日(月)

ロータリー財団より
ポールハリスフェロー

- PIN+5 林田 千之 会員
- PIN+3 南 利明 会員
- 林田 恒正 会員
- 証書 +PIN 竹澤 俊彦 会員



9月度祝事

会員夫人誕生日

9/5 杉本会員夫人 尚美様



結婚記念日

- 9/2 八百山会員
- 9/7 杉本会員
- 9/27 海道会員





『青少年交換プログラムが育む友情と親睦と世界平和』 山岸 功 会員

国際青少年交換プログラムは、どのようなものかといいますと、これは RI の要覽に「目的」ということで、次のように書かれています。『毎年ロータリーの青少年交換により、多数の青少年が他国の、人々の文化、風俗、あるいは問題業績について、体験する機会に恵まれている。』つまり、青少年はこのロータリーのプログラムにより、世界観を広げると共に、自分自身も成長し帰国してまいります。このような青少年がやがて大人になり、その多くが地域社会において、指導者としての役割を果たすようになりますと、青少年交換での経験の成果が、その役割の中で活かされるようになるわけです。従いまして、このロータリーの青少年交換プログラムは世界理解、世界平和ということでもありますので、その推進に大いに貢献しているという事が書かれています。

青少年交換学生となるにはまず、地区委員会より募集があり、それに応募すると面接があります。面接は本人、保護者、クラブ代表の三者の面接を行います。本人へは、地区委員とローテックス(帰国学生)が担当します。ローテックスを面接官に入れるのは、地区委員だけですとどうしてもしづらみが生じるからです。1年間派遣国で過ごしてきた経験のある学生が、この青少年は派遣しても大丈夫かどうか?との思いを取り入れながら公平な面接を行います。保護者には地区委員から、主にプログラムの説明と費用について説明します。往復の旅費と研修費用に10万円、出発時から帰国までの保険料の支払いの確認、そして、面接に合格し、青少年交換学生になった場合、本人は派遣国では、受入ロータリークラブが責任を持って生活の面倒をみることに、現地の学校に通い、毎月受入れクラブからおこずかいを頂ける、という事を伝えます。クラブ代表の方にも同様に、クラブでは責任をもって交換学生を受け入れてもらうこと、1年間に3~4軒のホストファミリーと、近くの学校への通学手続きの手配、毎月1万円(地区より支払われる)のおこずかいを渡してもらう事、必要書類の準備などを伝えます。そして、面接に合格しますと、応募者は派遣予定学生として研修をスタートします。一方、同時に地区委員会は、受入地区と書類のやりとりをスタートします。まず、面接に合格した学生の派遣国を決め、アプリケーション申請書を作成し、派遣地区の担当者に送ります。これが、「青少年交換プログラム」の申請です。そして、受入地区から、先方の派遣学生のアプリケーションが当地区にまいりますと、確認の上、ギャランティフォーム(保証書)を発行いたします。ギャランティフォームには当地区のどのクラブで受け入れるのか、入学する学校名、第1ホストファミリー名が記載されており、ガバナー、受入クラブ会長、地区委員のサインのある書類です。双方のギャランティフォームが発行に至ると、言葉通り『交換』が成立し、初めてその学生は青少年交換学生となるのです。

ちなみに、青少年交換プログラムには一年未満のものも沢山あり、又、国際理解と親善の増進を図るためには、必ずしもプログラムの全てが、相互交換である必要はないということも認められています。

ですが、私が今からお話しをしますのは、長期の青少年交換についてのこととなります。長期というのは一年間お互いに青少年交換をして、お互いの国、地域でお世話をする、お世話になるということです。青少年交換学生になるには15歳から出発時18歳6ヶ月までの者とし、学業において、なるべくクラスの上位3分の1以内の順位にある事が望まれています。プログラムの本質としても、若い人達を育てる、広い世界を見て自分の生き方を考え、自立して行く中で、この年齢での体験が非常に有効であると考えているからです。わたくし個人といたしましても、素晴らしい体験をした青少年たちが、国際社会を舞台に羽ばたき、将来「日本」が世界とどう関わるかにも重要な力を発揮してくれると信じており、非常に素晴らしいプログラムであると確信しています。そして、ご存じない方もいらっしゃるかもしれませんが、このプログラムは、ロータリアンの子弟が参加出来るというメリットもあります。ロータリーというのは奉仕団体ですから、本来、自分達の子弟なり、姻戚関係の方が、利益を受けるというのはご法度です。しかし、青少年交換プログラムが見据える大きな展望は、この機会が将来しっかりと立派なロータリアンが育つ大きな基盤であるとしているからです。そして、青少年交換プログラムはクラブが主体で行います。学生を受け入れ、そのクラブで3~4軒のホストファミリーをさがし、地域の高等学校に編入手続きをし、教育費の全額を負担し、1年間学生の無事を願いながら、その国の文化等素晴らしい体験を分かち合いお互いを育むのです。

私が関わっていた時は交換相手国として、アメリカ、カナダ、スウェーデン、デンマーク、オランダ、ベルギー、南アフリカ、トルコ、ハンガリー、ブラジル、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランド、13カ国と交換をし、派遣学生26名受入学生28名計54名、そのほかに次年度派遣予定学生19名の総勢73名の世話を地区委員11名、事務局員1名、12名のスタッフで行っていました。出発、受入時期の7月~9月は空港での送迎が頻発し、それはとても忙しいものでした。常時空港には2~3名の地区委員が待機し、時には台風で飛行機が欠航し空港で夜をあかしたこともあります。12名の地区委員は、6つの役割担当で成り立っておりまして。委員長、そして、アメリカ、ブラジル、ヨーロッパそれぞれの地区担当、研修担当、会計です。そして、プログラム運営の事業継続のためには、任期満了時、半数の留任が必要なため委員長はガバナー事務所へ出向き、6名の委員の留任をお願いしていました。留任期間を通して、アメリカ、ブラジル、ヨーロッパ担当者は相手国の担当者との人間関係が構築することができます。お互い無理を言いあえるようになり、お陰で交換がスムーズに行うことが出来ました。資金面では、年間1人当たり2200円(前期1100円、後期1100円)が割り当てられます。当時、約6600名会員がいましたので、1450万円位の資金で運営をしておりました。派遣予定学生からは10万円を頂き、1泊研修(保護者を含む)年6回の研修費用、出発時のバッチ代等にあてます。受入学生からも同様に10万円頂き、こちらは、地区行事、7月に富士登山、11月に岡山、広島へ2泊3日のエクスカージョンを行っておりました。また、受入学生には毎月1万円のこずかいを渡していました。

こずかいを渡す時の渡し方が問題になりまして、クラブの例会で会長が学生に会員の前でこずかいを渡すのは学生達からすると非常にプライドが傷つけられるという事で、例会の後で会長からそっと手渡しして欲しいとお願いしたこともあります。

私は今も思います。青少年交換活動で国内外に(多くのふれあいを通して)多くの友人を得ることができました。これは到底お金で買うことの出来ない宝物になっています。彼らとは、例え職業が違っていても、共通の話題がありました。苦労も喜びも共に分かち合っていました。ロータリーのコンベンション(世界大会)にも心はずませて参加するのは、その時にしか会う事の出来ない友が待っているからなのです。「ロータリーは良いな」としみじみと思う一瞬であります。

一般に、ロータリーは、友情と親睦、と言います。私は、奉仕活動を共にして行く中で共通の思い、問題解決に努力する中で友情が芽生えていったのだなと思っています。ロータリアン同士で困った時には助け合い、また喜びを分かち合う事が出来れば、これほど素晴らしいことはありません。ロータリアンに、奉仕活動の仕方がわからない、或いはロータリーの楽しみ方がわからない方がいられるというようにことを耳にすることがあります。これは由々しき問題であります。何か私にお手伝いが出来ないか、ロータリークラブの活性化は、どうしたらいいのかとも考えています。私自身の体験を振り返ってみますと、青少年交換プログラムに参加して頂く事も、ロータリーを楽しんでいただく1つではないかと思ひ、こうして皆様にお勧めしています。未経験の方はやってみるとよいと思います。いったんこのプログラムに取り組みますと、なかなかやめられないものです。楽しい、或いは大変な体験も含めて、ロータリー活動の喜びになる日が必ず来ますし、ロータリーの活性化にもつながるのではないかと思います。

この青少年交換プログラムは、長い人生の中で、精神的にも、社会的にも、非常に不安定な時期の、一番影響の受けやすい年頃の学生のお世話をします。青少年交換学生にとって、留学に対するそれ相応のやる気、目的意識が必要なら、ロータリーにとっても責任が重大であります。ノリや暇式だけのプログラムではいけないという事です。出発までは、何回もオリエンテーションをして、一年間、その国を代表する親善大使としての自覚を促します。そして、彼らが、有意義に過ごし無事帰ってくることを何よりも願っての奉仕活動です。私達地区委員やお世話をされた方々の一番の楽しみは、日本の文化を体験して、元気でそれぞれの家族のもとへ帰国する青少年達を見送り、派遣国から帰国した青少年達を迎えることです。

そして、報告会では、出発の時、青白い顔でもぞもぞと話しをしていた子ども達が、身体も5キロ~10キロ位大きくなり、表情も自信に満ちて演台に立ちます。15分と割り当てられたスピーチ時間が足りないと言いながら経験した事、決して辛かった事が話に出ることはなく、)将来の事を堂々と話をする姿は、心の成長を大きく感じさせてくれます。

子ども達のスピーチを聞く、この時が一年間の苦労を忘れる最高の一時です。

<会員感想>山岸会員より 青少年交換プログラムが育む友情と親睦と世界平和について卓話いただきました。ご自身の実体験に基づいた内容で、青少年交換プログラムの意義、必要性については勿論、運営についても詳細にご説明いただきプログラムへの理解も深まりました。ありがとうございました。(文責 前川 正智)

委員会報告

9月14日(月)

◆ロータリー財団◆

寄付者 15名

南利明 林田千之 下田 金 奥村 林田恒正 倉本
水崎 杉本 竹内 瀬野 川上 竹澤 八百山 南勝文

◆米山奨学会◆

寄付者 15名

南利明 林田千之 下田 金 奥村 林田恒正 倉本
水崎 杉本 竹内 瀬野 川上 竹澤 八百山 南勝文

◆ニコニコ箱◆

寄付者 20名

杉本会長 久しぶりの例会です。感染防止対策を個々でしっかりやっていきましょう!

三寺幹事 皆様のお元気な顔が見れて嬉しいです。

南利明 山岸会員本日はよろしくお祈りします。期待しています。

林田千之 妻の誕生日を自祝して。ポールハリスフェローをいただきました。

山岸 本日卓話をさせていただきます。

小見山 ようやく秋。皆様お元気で何よりです。山岸さん 卓話楽しみにしています。

北 お久しぶりですね。ロータリー例会や活動がスムーズに出来ますように。。。

下田 8/24 誕生日を自祝して。71歳になりました。

金 皆様お久しぶりです。3密を避け、マスク、手洗い。もう少し頑張りましょう。

奥村 皆さん、お久しぶりです。

林田恒正 山岸さんの卓話楽しみにしています。

◆出席報告◆ 出席委員会

例会日	会員数	出席	届有欠	届無欠	出席免除者 欠席	例会出席率
9/14	33	29	4	0	0	87.88%

◆寄付金の状況◆ニコニコ箱委員会 ロータリー基金委員会

	9月14日	累計	会費含む累計
ニコニコ箱	39,000円	103,000円	103,000円
ロータリー財団	27,000円	105,000円	
米山記念奨学会	27,000円	108,000円	

山下 ほぼ毎週ズームで会議しています。
東角 本日は、オンラインで参加します。
倉本 毎日元気で頑張りましょう。山岸様本日はありがとうございます。
水崎 皆さんお久しぶりです。お元気でしたか。山岸さん卓話よろしくお祈りします。
竹内 山岸会員 本日の卓話よろしくお祈りします。
瀬野 山岸会員 本日の卓話よろしくお祈りします。
川上 昨日ゴルフ同好会に出席頂きました皆さんお疲れ様でした。
竹澤 山岸会員 本日の卓話よろしくお祈りします。
八百山 山岸会員 本日の卓話よろしくお祈りします。
南勝文 本日も皆様ご苦労様です。

丸岡ロータリークラブ

会員数：33名 例会場：丸岡城のまちコミュニティセンター 例会日：毎週月曜日 19時00分

事務局：〒910-0251 福井県坂井市丸岡町一本田福所 22-24-3 東角建設(株) 2F

(月) 14時から18時(火~金) 13時~17時

TEL 0776-67-0410 FAX 0776-67-4811 E-mail webmaster@maruoka-rotary.com

公共イメージ委員会 理事-山下健治 会報委員会 委員長-前川正智 副委員長-八百山正栄

委員-水崎亮博 瀬野友伸 海道佳秀

